

わが町枚方に新しい風を起こしていく活動通信です

2012 年 4 月

ありやま まさのぶ

枚方市議会議員 有山 正信

【発行】 枚方市宮之阪 4-6-14

☎・FAX 072-847-8411

E-mail ariyama@cc-net.or.jp

ホームページ [http : //www.cc-net.or.jp/^ariyama/](http://www.cc-net.or.jp/^ariyama/)

有山正信

検索



ごあいさつ

春の訪れで、さわやかな季節が到来しました。昨年から今年の年明けにかけて、例年にない冬の寒さが続きましたが、この時期は季節の変化と共に、気温の大幅な変わり目でもあります。皆様におかれましては、体調の管理など充分にご自愛くださるようになして下さい。

さて、平成 24 年度の新年度になり、個々の生活においても変化が生じる時期であります。枚方市政においても新年度予算が成立いたしました。一般会計予算(普通会計)では、前年度比 14 億円増の約 1,173 億円という過去最大予算規模となり、6 特別会計(国民健康保険・介護保険会計など)や 3 企業会計(水道・病院・下水道各事業)を加えた予算総額は、約 2,350 億という前年度比約 82 億円増の大幅増額で、今後の市税収入の増加が見込まれない状況で、私自身が再三に亘り主張している、「行財政改革の一層の強化」を図らなければ、健全な市政運営は図られません。そのような中、「新行政改革大綱」策定委員会の発足による審議や、市のムダ事業を検証するための、2 カ年に亘る「事業の総点検(事業の棚卸し)」の実施が、私の主張が実り今年度から始まります。3 月議会定例会では会派からの「代表質問」を行い、また、予算委員会では委員長を務め(別途記事掲載)、新年度の市政運営についての主張や審議を行いましたが、私自身の政治信条である、どこまでも「市民の目線」で、今年度も市政に邁進します。

今後ともよろしくお願い致します。





平成 24 年度事業や予算に 反映された公明党市議団の「実績」

議会改革 議員報酬6%削減 議員定数 2 名削減が実現

地方議会改革が喫緊の課題の中、公明党市議団が昨年 5 月に、他の会派・党よりも先駆け「議会改革」実施の申し入れを議長に行いました。その後「議会改革特別委員会」が設置され、私は副委員長として審議をリードし、3 月議会において報酬・定数削減が議決されました。議員報酬削減についてはこの 4 月より実施で、定数削減については次回市議選より実施されます。合わせて経費削減額は年間約 3, 900 万円です。

なお、議員定数削減について、議決時に共産党議員団と手塚隆寛氏が反対の立場を取りました。

役所ムダストップ！

行政改革 事業の総点検実施でムダ事業見直し

私はこれまで幾度も、役所事業の点検に対し精度の高いものに見直そう、主張して参りました。結果、平成 24 年・25 年度 2 カ年に亘り、約 900 の市事業の総点検(棚卸し)が行われ、ムダ事業のチェックと、より効率性の高い事業手法への検証が行われます。

市未活用公有地を戦略的活用へ

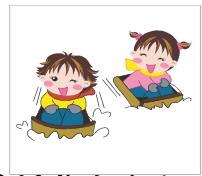
市未活用公有地を、国の方針に合わせ戦略的に活用していくべきであるとの私の主張が反映され、従来の市役所財務部「管財課」を戦略的な視点で公有地を検討する「資産活用課」へと、改編されました。

防災対策 学校分散備蓄を全小学校に配置

昨年、公明党議員団で災害時に避難場所となる学校施設を「防災総点検運動」として、全公立小中学校の現地調査を行い、災害時の分散備蓄が余裕教室の無い小学校には配備されていない実情を掌握。昨年の議会において指摘しました。結果、今年度において未整備の 16 校も防災倉庫が設置され、分散備蓄の強化がなされます。

非常口





子ども・子育て支援 子ども専門部局を開設

市役所機能において、子ども施策に対して窓口担当部局が分かりにくいとの従来の指摘があり、施策を一元化する部局設置を議員団として要望する中、「**子ども青少年部**」が開設されました。

新部局では子育て支援・留守家庭児童会室・家庭児童相談所などの各関係所管になります。

待機児解消

就学前の保育所ニーズが高い中、議員団として再三にわたり、待機児解消策の強化を要望する中、今年度は施設の増改築や民営化などの方策で、180人の定員増が図られます。

乳幼児医療費助成の拡充

子育て世代への子ども医療費負担軽減を要望する中、入院の場合においては、就学前から小学校卒業まで医療費補助が拡充されました。

通院医療費補助についても拡充されるよう、更に訴えて参ります。

高齢者施策

「街かどデイハウス事業」の予算拡充

高齢者の皆さんが日常的に楽しく集うことが出来る「街かどデイハウス事業」の年間運営補助額が、300万円から400万円に拡充します。事業者の皆さんから、安定した運営上、補助額予算拡充の要望もある中、議員団として議会で主張を行っておりました。



命と健康を守る施策

子宮頸がん検診の対象拡充

女性の命と健康を守る観点から、子宮頸がん検診の実施や対象年齢拡充を議員団として要望する中、対象者がこれまでの25歳以上から20歳以上に拡充されました。

「ひらかた命のホットライン（電話相談）」の拡充

自殺予防のための相談体制強化を議員団として要望する中、これまでの週1回だけの体制から、週3回13時～20時に拡充されました。

高額療養費制度 立て替え不要に

医療費自己負担上限額を超える立て替え払いが、入院時に加え外来時でも不要になりました。公明党の導入促進の主張で法改正が行われ、本市においても実施される運びとなりました。

= 議会活動 = 「市議会 3 月定例会」より

●市議会3月定例会で「代表質問」(平成 24 年 3 月 5 日)

竹内市長の「平成 24 年度市政運営方針」に対して、公明党議員団を代表して質問を行いました。

「主な質問項目」

- ・ 市長のトップとしての決意と基本姿勢について
- ・ 行政としての経営戦略について
- ・ 行政改革の手法と目標及び機構改革について
- ・ 防災対策・浸水対策について
- ・ 新警察署稼働後の体制について
- ・ 子育て支援策・教育環境について
- ・ 高齢者施策について
- ・ 障がい者施策について
- ・ 企業誘致・産業振興の方針について
- ・ 市駅周辺整備と総合文化会館の考え方について
- ・ 歴史遺産整備について など



●市議会3月定例会「予算特別委員会」委員長として審議

(平成 24 年 3 月 15 日～26 日)

平成 24 年度市一般予算及び各特別会計、企業会計予算においての各会派からの多くの質問に対して、「予算特別委員会」委員長としての議事進行を行いました。予算委員会最終日には、賛成・反対の両討論が行われ、予算執行の賛成多数となりました。

3 月議会定例会最終日には、私が委員長報告を行い、予算の成立がなされました。



< 地域要望にお応えしました >

府道大和郡山線の京阪村野駅前付近から村野本町 19 付近にかけて、道路舗装改良が行われました。沿道住民の皆さんから、車両の通行時の振動が激しくなってきたとの指摘を受けて、地元住民の皆さんと共に改善要望を行い、市当局から府土木に対し申入れが行われる中、改修が図られました。



市民相談
お気軽にお申し出下さい